

## 設置の背景

- 今後我が国の観光資源の魅力を高めていくためには、中長期的な視点に立った観光地域づくりを行っていく必要があるが、そのためには各地域においても関係省庁を含む多数の関係者との連携・調整を行うことが不可欠である。
- このため、既存の中部ブロック連絡会を発展的に改組し、平成29年4月19日に「観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議」を設置。

## 戦略会議の実施体制

### 観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議

- ・中部運輸局 ・中部地方整備局 ・大阪航空局
- ・東海農政局 ・中部経済産業局 ・東海総合通信局 ・中部地方環境事務所
- ・愛知県 ・静岡県 ・岐阜県 ・三重県 ・福井県
- ・名古屋市 ・静岡市 ・浜松市
- ・(公社) 日本観光振興協会中部支部
- ・(一社) 中央日本総合観光機構
- ・東海商工会議所連合会 ・(一社) 中部経済連合会
- ・(一社) 日本ホテル協会中部支部、神静山梨支部
- ・(一社) 全日本シティホテル連盟中部支部
- ・(一社) 日本旅館協会中部支部連合会
- ・(一社) 日本旅行業協会中部支部
- ・(一社) 全国旅行業協会東海地方支部長連絡会
- ・中部鉄道協会 ・中部鋼索交通協会 ・中部バス協会
- ・中部タクシー協会連合会 ・中部地区レンタカー協会連合会
- ・東海北陸旅客船協会 ・東海旅客鉄道(株) ・セントレアAOC
- ・中部国際空港(株) ・名古屋港管理組合 ・四日市港管理組合
- ・名古屋港外航クルーズ船誘致促進会議 ・清水港客船誘致委員会
- ・(独) 日本貿易振興機構名古屋貿易情報センター
- ・(独) 国際観光振興機構(オブザーバー)

構成員

事務局

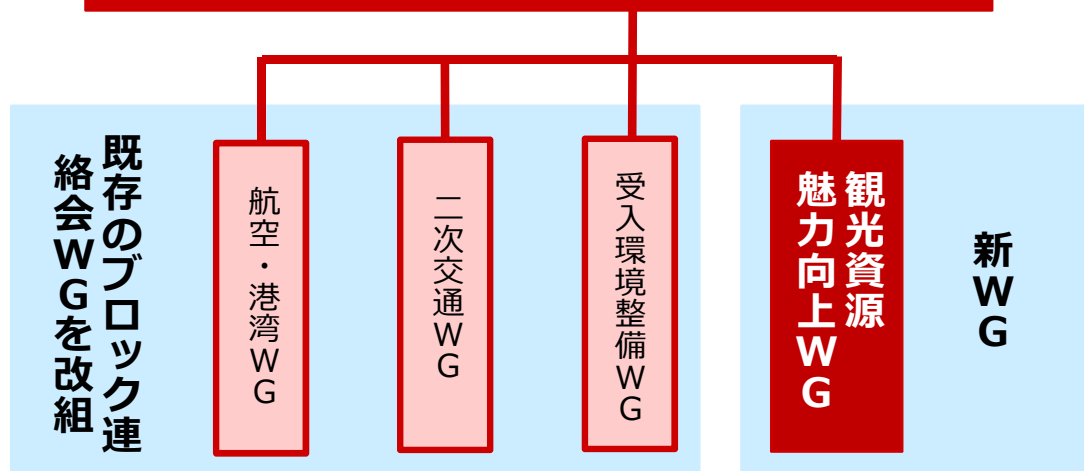
中部運輸局及び中部地方整備局

開催頻度

- 親会 年1回程度
- WG 年2～3回程度

## 観光資源魅力向上WGの新設

### 観光ビジョン推進中部ブロック戦略会議



○観光資源魅力向上WGでは、観光ビジョン掲載施策の具体化の推進のために、必要な課題を議論する。

○検討課題の例

- ・国立公園の「ナショナルパーク」としてのブランド化
- ・景観の優れた観光資源の保全・活用による観光地の魅力向上
- ・滞在型農山漁村の確立・形成
- ・伝統工芸品の消費拡大
- ・通信環境の飛躍的向上 等